

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	積極的な外出支援が出来ていない。特定の人物に偏りがちになっているので、少しでも多くの方々に出掛ける機会をつくっていく必要がある。	敷地内の散歩などではなく、非日常を体感してもらえるよう、「買い物やドライブ」など計画を立てていく。	スタッフからの働きかけは勿論、家族の方々にも状況に応じて協力をお願いしていきたい。場合によっては数カ月先のスケジュール調整し、そこに合わせて多くの方が参加できるように努めていく。	12ヶ月
2	2	地域の方々のボランティア等を通じた交流ができていない。	協力して頂ける地域の方や家族、近くのホームなどをお願いし、交流していくことも含めて関わりを持っていく。	笠岡市内の協力して頂けるボランティアの方々を探し、あんきな家の紹介をし、自分たちのことを知ってもらい、その上で協力して頂ける方を探し、一度だけでなく、継続的にお願いできるような関係性をつくっていく。	12ヶ月
3	19	家族との連携をより深めていく必要がある。	どの家族とも入居者の方の状況を把握して頂くよう努めていき、日常生活の改善を計っていく。	面会の間隔が長く空く家族の方とは電話などで連絡を取ったり、定期的に便りを送るようにして、本人と家族との距離が離れてしまわないよう考えていく。	12ヶ月
4	28	入居者一人ひとりの個別ケアについて。	スタッフ全員が入居者一人ひとりを把握し、日々の日常生活の向上につなげていく。	ケアプランを分かり易くし、共通理解することで、その方の生活を把握していく。それが出来た上で、その方に何が必要か考えていく。	12ヶ月
5	48	レクリエーションの参加、内容の多様化について。	出来るだけ多くの方が参加できるような内容にして、分かりやすく、楽しい時間になるよう考えていく。	個人の誰かにあらかじめやりたいことなど教えてもらい、それを皆で実行に移していったり、車椅子に乗った状態でも体を動かしていけるような内容のレクもあるので、色々取り入れていきたい。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。